

専門（水産）

水産海洋基礎

漁獲法に関する次の記述 A～C のうち空欄に入るものの組合せとして妥当なのはどれか。

- A. ☐ は、網を水中に敷設して、その上に魚を集め、網を引き揚げて魚をとる漁業である。
- B. ☐ は、イワシ類、アジ類、サバ類、カツオ、マグロ類など、大きな群れをつくって回遊する魚を対象として、網で巻いて漁獲する漁業である。
- C. ☐ は、魚道を遮断して一方向へ魚を導く垣網と、導いた魚を逃がさないように包囲する身網からなる漁具を、一定の場所に設置し、回遊してきた魚を網の中に落とし入れる漁業である。

	A	B	C
1.	敷網漁業	追込網漁業	刺網漁業
2.	敷網漁業	巻網漁業	定置網漁業
3.	引網漁業	追込網漁業	刺網漁業
4.	引網漁業	巻網漁業	定置網漁業
5.	引網漁業	巻網漁業	定置網漁業

（正答 2）

資源増殖

海洋植物（藻類・海草類）に関する次の記述 A～C のうち空欄に入るものの組合せとして妥当なのはどれか。

- A. ノリの人工採苗に用いる□は、海水中に繁茂した糸状体のことで、ミキサー等で細断した断片も果胞子と同じく、貝殻にせん孔して成長するため、単一の優良種苗を大量に準備することができる。
- B. □は、陸上の高等植物と同様の種子植物で、日本沿岸の内湾の水深 10m までの砂泥底に広く分布し、細長い葉と地下茎からなり、地下茎を伸ばして生育する。群落を形成し、魚介類の産卵や幼稚仔の育成場所、魚介類の漁場、水質・底質の浄化など、沿岸海域の生態系の中で重要な役割を果たしている。
- C. □は、寒天の原料であり、トコロテンとして食される。

	A	B	C
1.	フリー糸状体	ヒトエグサ	テングサ
2.	フリー糸状体	アマモ	テングサ
3.	フリー糸状体	アマモ	コンブ
4.	配偶体	ヒトエグサ	テングサ
5.	配偶体	ヒトエグサ	コンブ

(正答 2)